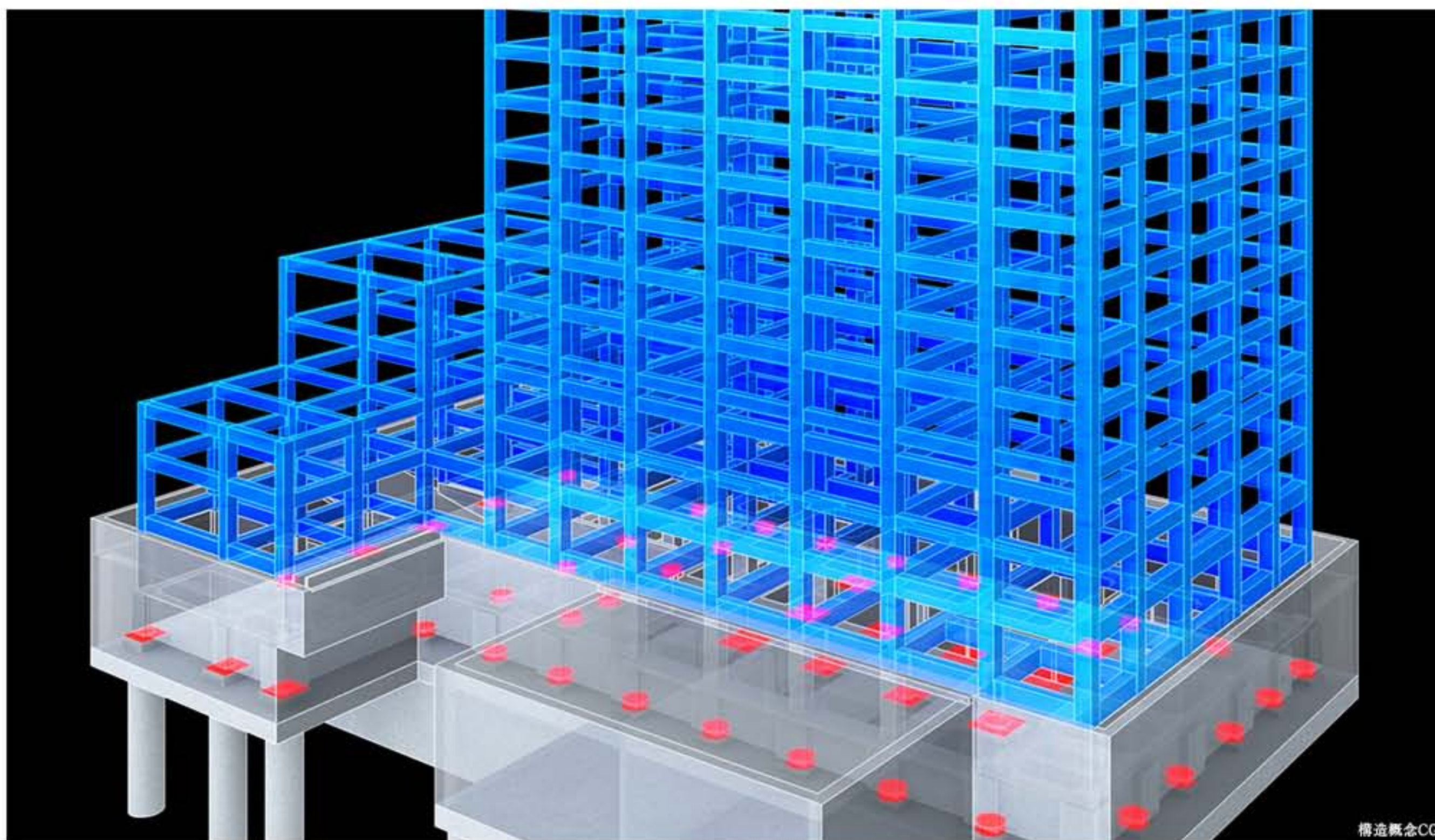


08. STRUCTURE

家族の笑顔を守り続けるための安心構造。

いつまでも安心して住みつづけられるよう、建物の強度や耐震性から耐久性、断熱性、遮音性に至るまで高基準を追求。特に地震に対しては、免震構造を採用することで、建物への被害や、住戸への揺れの影響を軽減できる建物を目指しました。



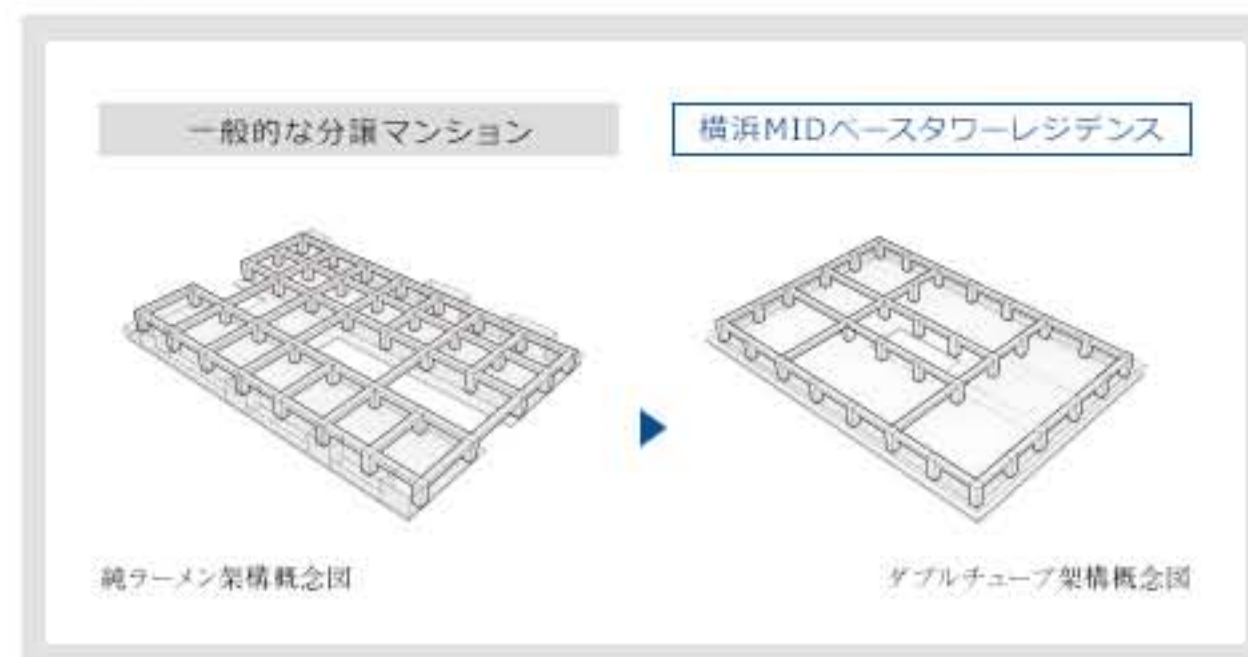
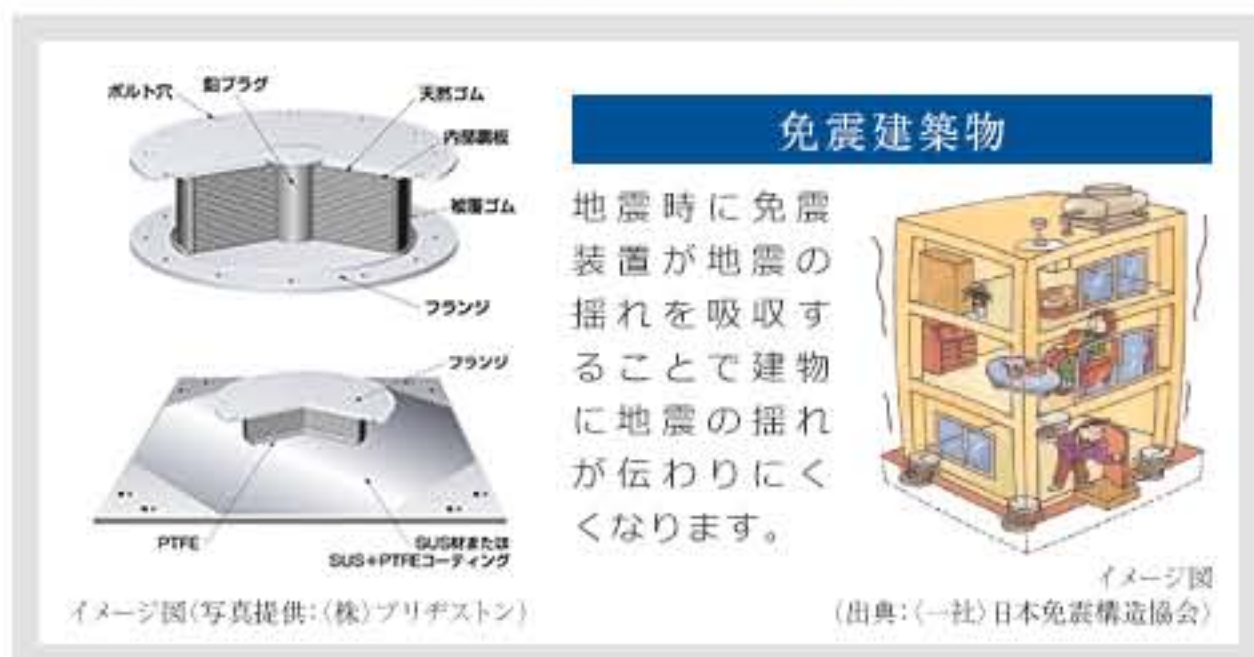
構造概念CG

安心の構造躯体を実現する 鹿島の免震タワーレジデンス。

「横浜MIDベースタワーレジデンス」では、地震時における建物への揺れの影響を軽減できる免震構造を採用。垂直方向には固く、水平方向には柔らかい、鉛プラグ挿入型積層ゴムと弾性すべり支承の免震装置を組み合わせて基礎の上に設置することで、建物全体と地震動との共振を避けています。

鹿島HiRC工法とダブルチューブ架構が 安心で快適な居住空間を実現。

高強度コンクリートと高強度鉄筋を効果的に使用する「HiRC工法」。建物の外周部と内周部の柱と梁によって構成される「ダブルチューブ架構」。更に免震を組み合わせることで、高い構造安全性を確保するとともに、自由度の高い居住空間を実現します。



※掲載の構造概念CG及び完成予想CGは計画段階の図面を基に描いたもので、実際とは多少異なります。また外観の設備機器等につきましては、表現上省略しています。